

TOCHIKEN



「リニューアルオープンした栃木県子ども総合科学館（愛称：コジマ子どもサイエンスパーク）」（写真提供：栃木県子ども総合科学館）

新年のご挨拶 ①

（一社）栃木県建設業協会 会長

栃木県知事

栃木県議会議長

（一社）全国建設業協会 会長

特 集 第4回 建FES GO ! ⑤

令和7年度 国土交通省関東地方整備局との意見交換会 ⑪

関東建設青年会議通常総会・関東地整との意見交換会 ⑫

（栃木県建設業協会青年経営者連合会）

令和7年度「栃木県建設雇用改善推進大会」を開催 ⑬

交通への自動運転技術の活用について ⑯

〈栃木県国土整備部交通政策課〉

建設業の墜落・転落災害防止用チェックリストの活用について

〈栃木労働局〉 ⑯

税務署からのお知らせ ⑰

Topics ⑯

続・とちぎのサムライvol.33 ⑯

全国津々浦々 お城めぐりの旅

インフォメーション ⑯

新年のご挨拶



年頭所感

一般社団法人 栃木県建設業協会

会長 谷 黒 克 守

新年明けましておめでとうございます。令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、常日頃から当協会の活動に深いご理解と一方ならぬご協力とご支援を頂戴しており、誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、昨年は7月の参議院選挙に加え10月の自民党総裁選への対応など、皆様には大変ご苦労をおかけしましたこと改めて御礼申し上げます。

さらに、芳賀支部が100周年、宇都宮支部が80周年と、それぞれ節目の年を迎えられました。これまでの長きにわたり、地域の発展と安全・安心な社会基盤づくりにご尽力いただいた先人の方々、そして今日まで支部を支えてくださった会員の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、近年、頻発・激甚化する自然災害は多くの人々の安全・安心を脅かしており、首都直下地震のリスクも高まるなど、国土強靭化の早期実現が望まれております。このため、当協会といたしましては、国土強靭化実施中期計画に基づき、本県で計画する広域道路ネットワークの整備や治水対策、大規模公共事業の具現化に向けて、国、県に強く働きかけて参ります。さらに、協同組合の事業に関しましては、これまでのような個々の行政単位ではなく、面的に管理する「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」の導入に向けて関係機関と検討・協議を進めて参りたいと考えておりますので、皆様のさらなるご協力をお願ひいたします。

一方、慢性的な人手不足や高齢化、若年層の業界離れが深刻な状況となっており、将来を担う人材の確保・育成が急務となっております。

このことから、当協会といたしましては、会員の皆様のご協力の下、「高校生インターンシップ事業」や職業体験「建FES GO！」、「とちぎ建設業合同企業等説明会」など毎年趣向を凝らしながら、幅広い世代へ建設業の魅力を伝えるためのイベント開催や人材育成に努めております。

さらに、女性活躍の推進のため「女性部会」設立に向けた検討や、新しい職域である「建設ディレクター」が活躍できる環境づくりのほか、将来の建設業の担い手確保・育成に資する「インフラトレーニングセンター」の創設に向けて県等と協議を進めて参ります。

今後も引き続き、若い世代の参画を促し、魅力ある産業としての発信に力を入れていくとともに、未来を担う子どもたちが建設業の仕事に夢を持てるよう、業界一丸となって取り組んで参りたいと考えておりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

結びに、今年の干支（えと）は「丙午（ひのえうま）」です。活力と勢いに満ち、物事を大きく発展させる力を象徴する年と言われており、新たな挑戦を恐れず、一歩を踏み出す勇気が成果につながる、まさに前進の年です。本年が会員の皆様にとりまして、希望に満ちた飛躍の一年となりますことを祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶



新年あいさつ

栃木県知事 福 田 富 一

皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、謹んで御挨拶申し上げます。

昨年開催された大阪・関西万博では、デジタル技術を活用した参加型・体験型の本県展示ブースに、当初の目標を大きく上回る5万人の来場者をお迎えし、とちぎの豊かな自然や文化・歴史、食等の魅力をお伝えすることができました。引き続き、県内外への本県の魅力発信に取り組み、観光誘客の促進等を図って参ります。

一方、長期化する物価高騰や米国の関税措置につきましては、県民生活や県内経済への影響を最小限にとどめられるよう、国の総合経済対策に呼応し、関係機関とも連携を図りながら、迅速かつ積極的に対応して参ります。

現在、県では栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」に続く、令和8（2026）年度から5年間の県政の基本指針となる次期プランの策定を進めております。次期プランに掲げる本県の目指す将来像「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」の実現に向け、「人づくり戦略」、「産業成長戦略」など5つの重点戦略により、次の世代につなげる取組を積極的に進めて参りたいと考えております。

特に、官民連携による「栃木県人口未来会議」が、人口減少という「静かなる有事」を乗り越えるために取りまとめた「とちぎ人口減少克服宣言」や延べ64の取組項目から成る「栃木県人口減少対策マンダラチャート」を踏まえた様々な施策を次期プランに位置付けた上で、行政、企業、団体など、官民の力を結集し、全県一丸となって、人口減少・少子化対策に取り組んで参ります。

さらに、女性や若者が活躍できる環境を整え、選ばれるとちぎづくりを推進するとともに、経済・雇用を牽引する産業の創出・振興や県産品のブランド力向上等により本県経済の活性化を図るほか、医療・介護提供体制の充実・強化や災害等の危機事象に強い地域社会の構築等を図って参ります。

加えて、県立美術館、図書館及び文書館の3施設を、本県の文化振興の中核として一体的に再整備する「文化と知」の創造拠点整備事業につきましては、整備構想を踏まえ、PFIを前提として、施設整備、管理・運営計画等について具体的な検討を進めているところであります、令和14（2032）年度中の開館を目指して、着実に推進して参ります。

社会が大きく変化する中におきましても、時代の潮流を的確にとらえ、県民の皆様と共に課題解決を図りながら、誰もが未来に夢や希望を抱き、豊かさと幸せを実感できるとちぎづくりを推進して参りますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって希望に満ちた素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年の御挨拶といたします。



新年のご挨拶



年頭所感

栃木県議会議長 池田忠

新年おめでとうございます。令和8年の年頭にあたり、県議会を代表し、謹んで御挨拶を申し上げます。

一般社団法人栃木県建設業協会におかれましては、地域貢献活動に積極的に取り組まれるほか、各分野で先進的な取組を積極的に推進するとともに、優れた技術・技能をもって、社会資本の整備に大きく貢献しております、日頃からの並々ならぬ努力に深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

私は、昨年3月、歴史と伝統ある第112代栃木県議会議長に就任いたしました。ふるさとの未来と本県のさらなる発展を願い、責務を果たしてこられた歴代議長の歩みに応えるべく、公正・公平で活気ある議会の実現に向け、全力で取り組んで参りました。

おかげをもちまして、二元代表制の一翼を担う県議会が、その役割を確実に果たせるよう尽力しながら、新年を迎えることができました。これもひとえに、皆様方の温かい御支援と御協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、物価高騰や人手不足、米国の関税措置など、地域を取り巻く課題が山積した一年がありました。加えて、少子化をはじめとする人口減少問題の克服に向けて、県では「人口未来会議」を設置し、将来を見据えた議論を重ねて参りました。また、AI技術の急速な発展や社会全体のICT化が加速する中、産業構造や働き方にも大きな変化が生じ、これらの技術をいかに活用して課題解決につなげるかが、ますます重要となった一年でもありました。

こうした中、県では令和8年度を初年度とする、県政の新たな基本方針「とちぎ未来創造プラン（仮称）」の策定を進めております。県議会が設置した検討会は、プランに掲げる本県の目指すべき将来像「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」の実現に向け、県民が“とちぎ”的将来像を明確に描けるよう、提言を行ったところですが、次代を担う若い世代はもとより、あらゆる世代の県民が未来に夢や希望を持ち、“とちぎ”に生まれて良かったと思えるよう、県民の皆様の意見をしっかりと取り入れながら、執行部とともに取り組んで参ります。

また、「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」の実現には、県民の命と暮らしを守る社会資本の維持・充実を着実に推進していく必要があり、建設業はその重要な役割を担っていると認識しております。さらに、皆様には、近年頻発・激甚化する自然災害への対応にも御尽力いただいており、改めて、建設業は地域の守り手であるという認識を深めたところです。

県議会といたしましては、「すべての県民が安全・安心に生活できる“とちぎ”」を目指し、防災・減災、県土強靱化を積極的に支援して参りますので、引き続き「地域の創り手・守り手」である皆様の、御支援、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、一般社団法人栃木県建設業協会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝、御多幸を祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。



新年のご挨拶



年頭所感

一般社団法人 全国建設業協会

会長 今井 雅則

令和8年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素より、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、深く感謝いたします。

近年の地域建設業を取り巻く状況は、公共建設投資が横ばいで推移し、実質投資額が減少する中で、資機材価格の高騰や人件費の上昇等の影響により企業倒産が増加するなど、経営環境は厳しさを増しています。

また、昨年も気候変動の影響により、地震、台風、豪雨、豪雪などによる大規模な災害が全国各地で発生しました。自然災害の激甚化・頻発化の傾向は顕著となっており、老朽化が進んでいるインフラの維持管理や更新の対策とあわせて、防災・減災のための国土強靭化は喫緊の課題となっています。

地域建設業は、社会資本整備や維持管理のみならず、災害発生時には最前線で災害対応を担う「地域の守り手」であるとともに、国民生活や地域経済、雇用の下支えをする地域の基幹産業として、地方創生のための重要な役割も担っています。

地域の安全・安心を担う地域建設業が、魅力ある憧れの産業として、その社会的使命を持続的に果たしていくためには、健全で安定したサステナブルな経営、待遇改善による担い手の確保が必要であり、そのためには、公共事業の実質事業量の増額確保と、将来に向けた経営の見通しが立つ長期的な事業計画の策定、求められる技能や役割に相応しい待遇の実現が不可欠です。

全建といたしましては、「危機管理投資・成長投資による強い経済の実現」に向け、国土強靭化を含む必要な公共事業予算の確保を強く求めるとともに、新3K（給与、休暇、希望）+K（かっこいい）の実現に向け、時間外労働の上限規制の適用を踏まえた「2+360（ツープラスサンロクマル）運動」、「適正工期見積り運動」、「目指せ！建設現場 土日一斉閉所運動」を進めるほか、賃金の引上げ、ＩＣＴの活用・DXの推進、広報活動などにも引き続き積極的に取り組んで参ります。

本年も、全建47都道府県建設業協会ならびに会員企業の皆様と一体となり、地域建設業の発展に向けて全力で取り組む所存でございますので、引き続きご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のますますのご多幸とご健勝を祈念するとともに、建設業のさらなる飛躍を願いまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。



未来をつくるのは君たちだ!

第4回 建 FES GO!

～建設のお仕事体験～

子どもたちに人気の

栃木県建設業協会青年経営者連合会(岩澤賢典会長)は、
げることを目的として、毎年「未来をつくるのは君たちだ!」
業協会の100周年記念事業として初めて開催(今年度で4回)
の方々に建設業に対して興味を持っていただける貴重な機

お仕事体験エリア

那須支部

工期を守れ!!～建設障害物競争～

建設業にとって工期の厳守は至上命題!安全を確保しながらいかにして短時間で目的を達成できるか障害物競争をとおして子どもたちに理解していただくコーナー



塩谷支部

1t土のう袋を運んでみよう!

大雨や台風の災害対策に必要不可欠な1t土のう袋。重機を使って1t土のう袋の製作・運搬・設置を模擬体験することにより、重機の動きや力の大きさを理解していただくコーナー



芳賀支部

建フェストレジャーハント

砂場に隠された宝物を重機を使って探し出すコーナー



芳賀支部

空から感じて!建設ドローン

ドローンを操作して飛ばし、上空から謎を解き明かして所定の場所に着陸させることにより、最新の建設技術であるドローンに触れていただくコーナー



鹿沼支部

怪盗建フェスからの挑戦状!

建設工事で欠かせない測量機器を使って、肉眼では見えない問題を解読し回答してもらうことにより、測量機器を身近に感じてもらうコーナー





建設フェスティバルが今年も開催!!

子どもたちや保護者に建設業への理解を深めてもらい、将来の担い手確保につながるFES GO!～建設のお仕事体験～を開催しています。このイベントは栃木県建設業協会が主催されました。毎年小学生や保護者など約2,500～4,000人の来訪者があり、多くの方が来場されています。

日光支部

建設の世界にイッテ Q ! ～クレーン体験編～

遠隔操作できるユニーク車で重いものを吊り上げ・移動・おろすことで、重いものでも安全にかつ楽に扱うことができるのを知ってもらうコーナー



下都賀支部

目指せ得点王 !! ～すくって潰して吊り上げろ !～

バックホウやクレーンといった様々な重機を使って得点を競いあうことで、モノづくりの面白さを体験してもらうコーナー



安蘇支部

足利支部

高いところから構造物を点検しよう !

高所作業車に搭乗し、壮大な景色を楽しんだり、高所から構造物の確認をして、会場内の危険箇所を探してもらうコーナー



宇都宮支部

インフラの秘密 !

橋梁や橋桁の構造の原理を理解してもらい、建設業の面白さ、奥深さを知ってもらうコーナー



とちけん小町

レンガでアーチ橋を作ってみよう !

レンガをアーチ状に組み上げ、その隙間に砂を詰めることにより、支えを外しても荷重を支えることができるアーチ構造の原理を理解していただくコーナー

★とちけん小町とは「栃木県の建設業で活躍する女性の総称」



リコージャパン

建設会社の社長になろう !

建設会社の社長の名刺を自作して、いろいろな方と名刺交換することにより、名刺交換という社会人の基礎を体験してもらうコーナー





展示・体験ブースエリア

イベントには国土交通省関東地方整備局下館河川事務所、栃木県、宇都宮市教育委員会が後援、栃木県魅力ある建設事業推進協議会(CCIとちぎ)、とちぎ建設技術センター、西尾レンントオール、アクティオ、カナモト、コアミ計測機、コマツ栃木、日立建機日本、仙台銘板、レンタルのニッケン、丸宇興業、リコージャパン栃木支社が協賛、またとちぎ建設業魅力向上連絡協議会、栃木県高等学校教育研究会土木・建築研究委員会がブース協力をしてくださるなど、発注者等も含めて多くの団体・企業に協力していただきました。



国土交通省関東地方整備局下館河川事務所



とちぎ建設業魅力向上連絡協議会



栃木県県土整備部



コマツ栃木



カナモト



栃木県高等学校教育研究会 土木・建築研究委員会



コアミ計測機



仙台銘板



西尾レンントオール



西尾レンントオール



西尾レンントオール



西尾レンントオール





ステージエリア

来場者にくつろいでいただるために、会場内に設置された特設ステージではオープニングセレモニーや各種のアトラクションを催しています。

オープニング



「建FES GO！」実行委員会によるイベント開始のオープニングセレモニー



親子 小まるた切りクイズ！



ダンス発表会

(DANCE SPACE 蔵人・もてぎヒップホップ教室)



デシベル計で大声選手権！



「開運戦士ブレイバーン」ヒーローショー!!



よさこい演舞（てんて鼓舞）





スタンプラリー・SNS ジャックエリア

●とちけん小町スタンプラリー

建設業で活躍する女性チームの名前が会場内のどこかに隠されていて、そのスタンプを探し当て全部集めることができたらガチャコインと交換し、ガチャガチャを回すことができるコーナー。



●土木でSNSをジャックするアクション

就業人口が減少している土木の仕事をみんなに知ってもらい、そして応援してもらうために、土木の日（11月18日）の午前11時18分（ターゲットタイム）に共通のハッシュタグをつけて撮影した画像や動画を投稿し、SNSをジャックしようというアクション。

当日は来場してくれたお子さんたちにパンフレットのデザインシートに好きな土木構造物、重機等のイラストや、土木で働く人たちへのメッセージ等を書いてもらいました。





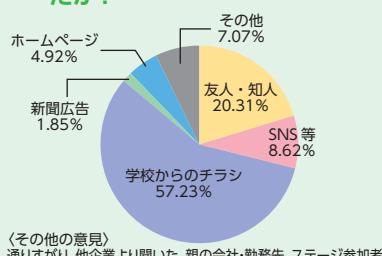
アンケート集計結果



●一般参加者の住まい (325枚のアンケートによる)

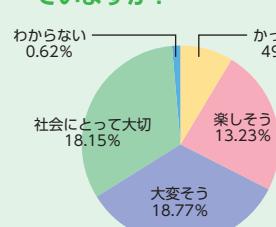
足利市	0.92%	上三川町	0.92%	高根沢町	1.85%	那須町	0.31%
佐野市	0.92%	宇都宮市	48.62%	さくら市	1.85%	栃木県内	3.07%
栃木市	0.92%	真岡市	5.23%	那須烏山市	2.77%	茨城県	0.92%
小山市	0.62%	芳賀町	1.85%	矢板市	0.31%	埼玉県	0.92%
壬生町	0.31%	市貝町	2.15%	日光市	3.38%		
下野市	0.31%	益子町	1.85%	大田原市	4.31%		
鹿沼市	7.08%	茂木町	5.23%	那須塩原市	3.38%		

Q1 本日のイベントは何で知りましたか?

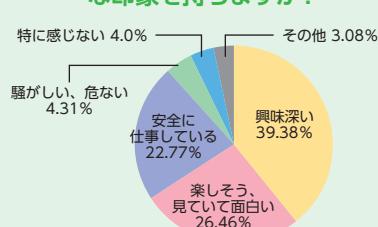


〈その他の意見〉
通りすがり、他企業より聞いた、親の会社・勤務先、ステージ参加者

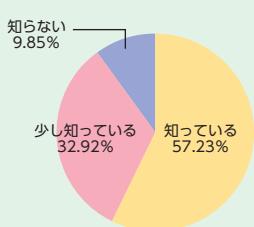
Q2 建設業にどんなイメージを持っていますか?



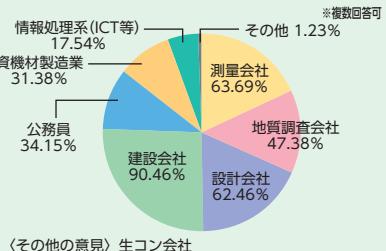
Q3 建設現場を見かけたとき、どんな印象を持ちますか?



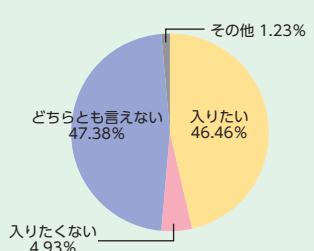
Q4 建設業は自然災害等が発生したときに第一線で活躍していることを知っていますか?



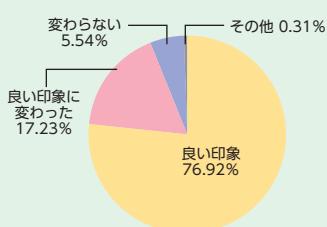
Q5 建設業に関係する仕事はたくさんある事を知っていますか? 知っている業種(しごと)を教えて下さい。



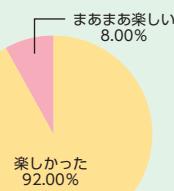
Q6 [お子さんへ] 今回のイベントを通じて、将来建設業へ入りたいと思いましたか?



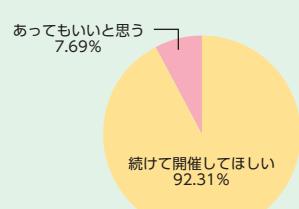
Q7 [保護者様へ] 今回のイベントを通じて、建設業のイメージは変わりましたか?



Q8 今回のイベントは楽しんで頂けましたか?



Q9 今回のような建設業をおおしての職業体験イベントは必要ですか?



Q10 最後に、このイベントにあつらいいいなを聞かせてください

- ◆子供が楽しんでいました。感謝します
- ◆3歳児も楽しめました。ありがとうございます
- ◆重機体験コーナーの増設
- ◆親子共々楽しめてもらいました
- ◆チラシを受け取った時から楽しみでした
- ◆楽しかった、満足です 12件
- ◆来年も楽しみにしています 4件
- ◆色々な工事車両が見られて楽しかった 2件
- ◆どのブースもスタッフの方々が盛り上げてくれて楽しゅく体験できました
- ◆幼児から小学生、大人まで楽しめました。大満足
- ◆スタッフの対応が良く、気持ちよかったです
- ◆参加できてよかったです
- ◆子供が楽しみにしてました
- ◆このまま楽しい
- ◆キッチンカーが増設されて良かった
- ◆職業体験の増設
- ◆スタッフが元気があり、皆優しかったです
- ◆公式SNS（インスタ等）を作ってほしい
- ◆大人も職業体験したいです





令和7年度 国土交通省関東地方整備局との意見交換会



(一社) 栃木県建設業協会
谷黒 克守 会長



国土交通省関東地方整備局
橋本 雅道 局長



栃木県県土整備部
小野 和憲 部長

令和7年10月6日、ホテルニューアイタヤにおいて国土交通省関東地方整備局から橋本局長ほか県内直轄事務所長を含む役職者、栃木県県土整備部から小野部長ほか幹部職員、栃木県建設業協会から谷黒会長ほか副会長、各支部長、総務企画・技術・広報・大型民間工事参入検討委員長などが参集し意見交換会が開催されました。

関東地方整備局長、栃木県県土整備部長、栃木県建設業協会長による挨拶の後、関東地方整備局企画部技術開発調整官の進行で、関東地方整備局の取組、建設業行政の最近の動きについて説明がありました。栃木県建設業協会からは活動状況や、「経営体質の強化」、「維持管理業務共同受注方式の拡充」、「人材の確保・育成」について、菊池副会長より説明がありました。

次に、国から昨年度の意見要望への対応状況説明があつた後、意見交換を行い、栃木県建設業協会から次の意見要望を提出し国等の所見を伺いました。



議題1 國土強靭化への安定的・持続的な予算確保について (石川副会長説明)

議題2 広域道路網等の充実・強化について (竹澤副会長説明)

議題3 若年層の就職促進及び人材確保について (齋藤副会長説明)

自由討議 生産性向上を図るＩＣＴ技術の活用について (坂野副会長説明)

自由討議 観測史上最高気温を迎える時代の熱中症対策について (野澤常任理事説明)

最後に、関東地方整備局の増田副局長から熱心な意見交換への謝辞があり、閉会しました。



関東建設青年会議通常総会・関東地整との意見交換会を開催!

栃木県建設業協会 青年経営者連合会



挨拶する湯澤信会長（山梨県）



通常総会・意見交換会の様子



「採用・育成・定着を促す思考」



委員会の事業活動発表

令和7年9月26日、ホテルブリランテ武蔵野（さいたま新都心）で令和7年度関東建設青年会議通常総会と関東地方整備局との意見交換会が開催されました。

通常総会の冒頭、主催者を代表し、関東建設青年会議の湯澤信会長（山梨県）は、「建設業界は働き方改革や技術革新、24年問題など多くの課題に直面している。中でも少子高齢化が進む社会において、若い世代に建設業の魅力をいかに伝えていくかが重要なテーマである。こうした変化の時代において、関東建設青年会議は業界の羅針盤としての役割を担い、今後も魅力発信を強化し、若い世代へのアプローチをさらに広げていきたい」と述べました。引き続き通常総会の議事に入り、令和6年度の実施事業や、全国建設青年会議第29回全国大会について報告されました。令和7年度の事業計画には、①建設産業における情報交換の推進策として、関東地方整備局との情報交換を積極的に行うこと。②持続的な建設産業の推進策として、建設産業を取り巻く諸問題について情報を幅広く収集し、建設生産システムの効率化などに向けた研究を行うこと。③効果的な社会貢献活動の発信方法の研究を進めること。④災害対応に関する取り組みとして、首都直下型地震への備えと建設業がいかに行動し、他の地域と連携できるか研究すること。⑤全国建設青年会議第30回全国大会への参画、等が提案されました。議案については、出席者の満場一致で承認となりました。

総会後に行われた関東地方整備局との意見交換会では、建設産業向上委員会の塚本委員長（群馬県）、建設産業情報発信委員会（CTI）の長山委員長（茨城県）から、各委員会の2年間の取り組み内容の報告のほか、「採用・育成・定着を促す思考」、「若手入職者の確保に向けて」をテーマに、人材の確保と活用、若年層に対する効果的なアプローチの仕方等についての発表が行われました。続いて、関東地方整備局企画部の米村企画調整官から、「関東地方整備局の取組について」をテーマに、働き方改革と担い手確保、災害対応への取り組み等についての講演が行われました。最後に、関東地方整備局の田中企画部長から、「今後とも青年会議の皆様との連携・協力を深め、建設業をより魅力ある産業として発展させていきたい」との講評が述べられました。意見交換会の終了後には、懇親会も行われ、盛大なうちに終了となりました。



令和7年度「栃木県建設雇用改善推進大会」を開催

～建設労働者の雇用改善のために～

令和7年11月28日、宇都宮市のホテル東日本宇都宮において、栃木県建設雇用改善推進委員会、一般社団法人栃木県建設業協会主催、栃木労働局、栃木県、独立行政法人勤労者退職金共済機構栃木県支部、栃木県建設産業団体連合会共催による「栃木県建設雇用改善推進大会」が開催され、会員などの関係者約220人が出席しました。



谷黒克守 栃木県建設雇用改善推進委員会会長



川口秀人 栃木労働局長



吉原佳子 栃木県労働政策課長

式典では、主催者を代表して谷黒克守栃木県建設雇用改善推進委員会会長から、「建設業は大規模自然災害への対応や社会インフラの老朽化対策など、『地域の守り手』として社会から大きく期待されている。しかし、少子高齢化による入職者の減少や業界離れが深刻であり建設業を担う人材確保・育成が急務である。このため、時間外労働規制への対応をはじめとした『働き方改革』へ積極的に取り組むなどして、魅力ある業界へと進化していきたい。皆様は本日の大会を契機として、魅力ある職場づくりと雇用環境の実現に向けた取り組みを強化し、若者から選ばれる業界となるよう期待申し上げる。」とあいさつを述べました。

次に共催団体からは、はじめに川口秀人栃木労働局長より「栃木労働局では、建設業における人材確保・人手不足対策が喫緊の課題と認識し、若年者を含めた求職者支援や求人充足に向けた求人者支援マッチングを進めている。また、労働者の待遇改善の観点から、人材育成等を含めた賃金引上げを支援するための各種助成金を用意しているので、活用願いたい。11月30日には、楽しみながら将来の職業に対する理解を深めることを目的とした職業体験イベント『ジョブフェスとちぎ2025』の開催を予定しているので、是非会場へ足を運んでいただきたい。」とあいさつがありました。

栃木県知事の代理で知事のあいさつを託された吉原佳子栃木県労働政策課長からは、「県内の経済状況は長引く物価高や深刻な人手不足など、依然として厳しい状況が続いている。雇用情勢も持ち直しに足踏みがみられる。このため、県では新卒者への奨学金返還支援に加え、9月補正予算において35歳未満の従業員の奨学金返還支援に取り組む県内企業等を支援する『とちぎ奨学金返還企業応援事業』を創設した。本助成金支給を通じ、県内の魅力ある企業を増やすとともに、人材確保・定着促進を図り本県産業の持続的発展を実現して参る。」とあいさつを述べました。

続いて、建設雇用改善に功績のあった事業主の方々に対して、栃木県知事表彰が館野建設株式会社、株式会社万建設興業に、また栃木県建設雇用改善推進委員会会長表彰が株式会社入江組、加藤建設株式会

社、大関建設株式会社、岡田土建株式会社に授与され、建設業退職金共済制度普及協力事業所に対して独立行政法人勤労者退職金共済機構理事長表彰が株式会社清水造園、船生建設株式会社に授与されました。

式典後は、記念講演が行われ、有限会社アプローチ代表取締役社長の河内理恵氏による「危険感受性を高める建設現場のコミュニケーション」と題したご講演をいただきました。河内氏は、PHPビジネスコーチング資格、産業カウンセラー資格をお持ちであり、元NHKニュースキャスターのキャリアを活かし、伝わる職場コミュニケーション、メンタルヘルス、コーチングの講師として講演・研修活動を展開しているほか、「安全は現場コミュニケーションから」、「ヒューマンエラーをなくそう」など、安全大會講師としてもご活躍なされております。

建設現場において、いつ事故が起きてもおかしくない建設業にとって、大変ありがたいお話を拝聴いたしました。会場では明るい笑顔とともに、大きな拍手が鳴り響きました。

受賞事業者名

■ 栃木県知事表彰

- | | |
|-----------|---------|
| 館野建設株式会社 | (下都賀支部) |
| 株式会社万建設興業 | (那須支部) |



栃木県知事表彰受賞者

■ 栃木県建設雇用改善推進委員会会長表彰

- | | |
|----------|---------|
| 株式会社入江組 | (宇都宮支部) |
| 加藤建設株式会社 | (日光支部) |
| 大関建設株式会社 | (芳賀支部) |
| 岡田土建株式会社 | (安蘇支部) |



栃木県建設雇用改善推進委員会会長表彰受賞者

■ 独立行政法人勤労者退職金共済機構理事長表彰

- | | |
|----------|---------|
| 株式会社清水造園 | (宇都宮支部) |
| 船生建設株式会社 | (塩谷支部) |



独立行政法人勤労者退職金共済機構理事長表彰受賞者

交通への自動運転技術の活用について

栃木県県土整備部交通政策課

1 はじめに

自動運転とは、人（運転手）が車両を運転する際に行っている、①認知、②判断、③操作という3つのプロセスをシステムが自動で行い、車両を動かす技術です。

自動運転のレベルには段階があり、レベルが上がっていくごとに人が介入しない「完全自動運転」に近づいていきます。全面的にシステムが運転することとなる無人自動運転はレベル4からとなります。

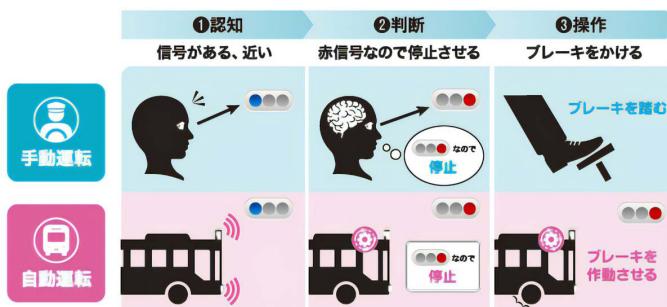


図1 自動運転のプロセス

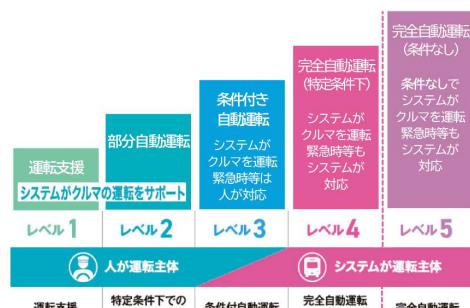


図2 自動運転のレベル

2 自動運転技術の可能性

自動運転は、自家用車・移動サービス・物流サービスに導入することにより、交通事故の削減、渋滞の解消や緩和、高齢者等の移動手段の確保、運転手不足の解消、国際競争力の強化等につながる技術として期待されており、全国各地で自動運転の実装に向けた様々な取組が展開されています。



3 おわりに

栃木県では、自動運転技術の可能性にいち早く着目し、令和2年度から自動運転バスの実証実験等の取組を進めてきました。令和7年度には下野市内の自治医大線（自治医大駅～自治医大病院前）において、県内初となる自動運転レベル4の実証走行も予定されています。

道路等の走行空間の整備は、自動運転車両を安心かつ円滑に走行させるための重要な取組の一つであり、今後とも関係機関のご理解とご協力をいただきながら、県内移動・物流サービスへの自動運転技術の導入促進に向け取り組んで参ります。



建設業の墜落・転落災害防止用 チェックリストの活用について

栃木労働局

栃木県の建設業の休業4日以上の労働災害における事故の型で最も多いのは、「墜落・転落」で、令和6年確定値で69件（建設業全体190件の36.3%）、令和7年10月末現在で53件（建設業全体154件の34.4%）となっています。

栃木県の建設業の労働災害を減少させるために、栃木労働局では、以下のチェックリストを作成いたしましたので、工事現場の安全管理にご活用ください。

＜建設業の墜落・転落災害防止用チェックリスト＞

- ※ 施工計画作成時、現場巡回時、パトロール実施時等に点検し、墜落・転落災害防止を徹底しましょう。
- ※ 発注機関においてもパトロール実施時等に点検し、発注工事における墜落・転落災害防止に取り組みましょう。
- ※ 労働安全衛生法で規制のある「高所」は、高さ2メートル以上の箇所ですが、以下の点検項目における「高所」は、高さ2メートル未満の箇所を含みます。

点検項目	点検結果
① 高所の作業を行う場合、足場等の安全な作業床を設置していますか。	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
② 上記①の場合において安全な作業床を設置することが困難なとき（※注）は、防網を張り、墜落防止用器具を使用させる等により作業を行わせていますか。（※注：作業床を設置することができる場合は、作業床を設置し、かつ、下記③の墜落防止対策の設備を設置しなければならないことに注意が必要です。）	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
③ 高所の作業床（足場の作業床を含む。）で作業を行う場合、作業床の端、開口部等に、囲い、手すり、覆い等の墜落防止対策の設備を設置していますか。	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
④ 上記③の場合において墜落防止対策の設備として手すりを設置する場合、手すりを高さ85センチメートル以上の位置に設置し、かつ、高さ35センチメートル50センチメートル以下の位置に中桟等を設置していますか。	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
⑤ 上記③の場合において墜落防止対策の設備を設置することが困難なとき（※注）又は作業の必要上臨時に墜落防止対策の設備を取り外すときは、作業者に墜落防止用器具を使用させ、かつ、関係作業者以外の作業者を立ち入らせない措置を講じていますか。（注：墜落防止対策の設備を設置することができる場合は、上記③の墜落防止対策の設備を設置しなければならないことに注意が必要です。）	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
⑥ 上記⑤の場合において作業の必要上臨時に墜落防止対策の設備を取り外したときは、その必要がなくなった後、直ちに当該墜落防止対策の設備を復旧していますか。	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
⑦ 足場上での作業がある日は、その日の作業開始前に、墜落防止対策の設備の取り外し及び脱落の有無を点検し、異常を認めたときは直ちに補修していますか。	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
⑧ フルハーネス型墜落防止用器具を使用させる作業者に対して、特別教育を実施していますか。	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

税務署からのお知らせ

令和7年分の申告と納税は期限内に！

- 令和7年分の申告と納税は、期限内にお願いします。

	所得税及び贈与税	消費税（個人事業者）
申告及び納期限	3月16日（月）	3月31日（火）
振替日	所得税： 4月23日（木） 贈与税：口座振替は利用できません	4月30日（木）

マイナンバーカードで簡単スマホ申告！もっとつながる！もっと便利に！

スマホとマイナンバーカードを使って、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」から自宅で申告書を作成・提出（送信）できます。

なお、マイナポータルとe-Taxを連携（マイナポータル連携）すると、確定申告書の該当項目が自動入力されるので、医療費通知情報や寄附金受領証明書などを1件ずつ入力する必要がなく、書類の提出保存も不要となり便利です。

また、給与所得や公的年金等の源泉徴収票なども自動入力の対象になります。

マイナポータル連携をご利用になるには事前準備が必要となりますので、お早めの準備をお願いします。

《確定申告はこちら》

作成コーナー



《マイナポータル連携はこちら》



宇都宮税務署 確定申告会場のご案内

確定申告会場	マロニエプラザ（宇都宮市元今泉6丁目1番37号）
開設期間	<u>令和8年2月16日（月）～3月16日（月）</u> - 土、日、祝日は除く（3月1日（日）のみ開場） - 開設期間前に申告会場はありません。 <u>午前8時30分～午後4時（入場整理券配付終了まで）</u> - 会場への入場には <u>入場整理券</u> が必要です。 - 当日配布の入場整理券が無くなり次第受付終了します。 国税庁LINE公式アカウントから事前取得できます
受付時間	

申告会場では「マイナンバーカード」「パスワード（2種類）」「スマホ」を使って申告します

【事前にマイナンバーカードのパスワード（2種類）をご確認ください】

① 署名用電子証明書 (英数字混在、大文字のみ6~16文字)	*****
② 利用者証明用電子証明書 (数字4桁)	*****

※電子証明書の有効期限にご注意ください。

有効期限が切れていると申告手続きができません。



Topics

宇建協が創立80周年記念式典を開催 ～更なる社会貢献に心新たに～

【宇都宮支部】



宇都宮建設業協会（野澤充広会長）は平成7年11月5日、宇都宮東武ホテルグランデにおいて創立80周年記念式典を開催しました。宇都宮建設業協会は1946年5月に発足した「宇都宮土建業組合」が前身で、現在会員数75社で構成されています。

第1部の記念式典には佐藤栄一宇都宮市長、高橋克法法務副大臣、螺良昭人栃木県議会議員、塙田典功宇都宮市議会議長、谷黒克守栃木県建設業協会会長らが来賓として出席しました。野澤会長は「地域の守り手としての社会的使命を果たすためには技術力や経営力向上の研鑽を積むことが大切であり、働き方改革にも積極的に取り組み、魅力ある業界へと進化させ、未来の子どもたちが安心して暮らせるまちづくりに精進する」と80周年をさらなる進化に向けた出発点とし、自信と誇りを胸に生業に励む決意を式辞の中で述べました。

第2部の記念講演では、テレビコメンテーターとしておなじみの弁護士・八代英輝氏が「あなたの会社は大丈夫？経営者が知っておくべき法律トラブル最前線」との演題で講演を実施し、講演後の質問時間では多くの興味深い質問も飛び出しました。

第3部の祝賀会は福田富一栃木県知事、船田元・五十嵐清衆議院議員、上野通子参議院議員らの来賓を迎えて、盛大な鏡開きからとても華やかに宴が催されました。

なお、今後80周年を記念した記念誌を発刊する予定です。

（岩原産業株） 岩原正樹

LRT事業の推進に 多大なる貢献

【宇都宮支部】

2023年8月に開業した芳賀・宇都宮LRT（ライトライン）は、通勤・通学・買い物・通院などの移動環境の向上、外出機会・歩く機会の創出、公共交通全体の利便性の向上などその整備効果が多方面で確認され、定住人口の維持・増加や地価の維持・上昇にも大きく寄与していることが認められています。

利用者の累計も事前の予想を大きく上回り、営業725日（2025年8月）に1,000万人を突破しました。宇都宮市長よりLRT事業の推進に大きな貢献のあった方々に感謝の意を表すため感謝状の贈呈がありました。われわれ建設業関係者からは以下の4人が受賞されました。



(株) 暁工務店
増渕 薫氏



(株) 菊地組
菊池三紀男氏



(株) 野澤實業
野澤充広氏



上陽工業(株)
上野勝弘氏

（岩原産業株） 岩原正樹



Topics

南摩ダム関連工事現場研修会

【鹿沼支部】



令和7年9月18日、鹿沼支部と建災防鹿沼分会の合同で鹿沼市に建設中の南摩ダム関連工事の現場研修会が開催されました。この南摩ダムは、国内初のコンクリート表面遮水壁型ロックフィルダムという構造であり、洪水調節や水道用水の供給、流水の正常な機能の維持を目的とした多目的ダムで、令和8年度の完成を目指して整備が進んでいます。



初めに思川開発導水路工事（大芦川工区）について、工事概要や施工状況、安全の取り組みの説明をお聞きしました。熱中症対策においてWBGT値のチェックモニターが設置されており、作業員全員が確認できる



ようになっていました。また、完成した導水路内部の見学をさせていただきました。この他、管理棟多目的室や展望施設の見学では周辺の整備状況と試験淡水状況の説明を受けました。周辺にはアクティビティ施設の整備も進んでおり、観光資源としての可能性も広がっています。建設の進捗に合わせて地域社会の魅力向上に貢献する様子は、建設業の誇りと責任を改めて感じる視察となりました。

（株）安中建設 萩原真紀）

クリーンアップキャンペーン開催

【日光支部】



令和7年10月31日に第31回クリーンアップキャンペーンを実施しました。主催は栃木県建設業協会日光支部・日光市建設業組合。共催として栃木県日光土木事務所・日光市役所。そしてCCIとちぎ・日光商工会議所にご後援をいただきました。

参加者総数は150名、本年は五十嵐清衆議院議員にもご参加いただき、国道119号旧道（杉並木内）今市小前歩道橋～日光方面へ3kmの区間において、日光が誇る『日光杉並木』植樹400年を記念したクリーンアップを盛大に実施することができました。



11月30日に行われる『日光杉並木植樹400年記念杉並木ウォーク』のコースを事前に綺麗にし、多くの市民に植樹400年の素晴らしい年だと周知することができました。地域と共に歴史を紡いできた建設業として、先人たちが守り育んできた杉並木を官民が力を合わせて次代へとつないでいく役割をしっかりと担ってまいりたいと思います。

（株）山田組 山田 孝）



Topics

高校生現場見学会

【芳賀支部】



令和7年10月10日、建設産業への就業促進、人材育成、定着を目的として真岡工業高等学校建設科の1年生32名を対象に本年度も現場見学会を実施しました。

開講式では、坂野支部長の激励の挨拶と飯泉主幹教諭の訓示があり、見学会が始まりました。

土木現場は真岡土木事務所発注の一般国道408号真岡IC南立体建設工事その1〔施工：増山工業(株)〕、鋼橋上部工建設工事〔施工：川田・古河JV〕で、飯塚整備第一課長、田中主査より、408号真岡南BPの事業概要の説明を受け、ICT技術による盛土工事、テールアルメ工法による補強土壁工事、鋼橋上部床版の配筋状況を確認し、映像による鋼橋架設状況の説明を受けました。

建築現場は県土整備部建築営業課発注の県営若草住宅新1号棟新築工事〔施工：増渕・渡辺・興建JV〕で、定点撮影による建造物が立ち上る流れの説明を受け、8階建ての県営住宅の各階ごとに進む施工状況を研修しました。

当支部と真岡工業高校は創立以来60年以上、地元の企業として様々な取り組みを行っておりました。今回の見学会でも生徒たちはものづくりの楽しさを学び、建設業の魅力を知る良い経験になったこと思います。担い手不足が問題になっている昨今、未来の技術者たちが地元企業に就業し、人材確保につながることを期待し、今後も連携してまいります。

(河原土建(株) 河原恵治)

高校生、建設業を体感

【下都賀支部】



間々田保育園新設工事 重機体験

令和7年11月7日、下都賀支部建友会は若手建設業担い手育成支援事業として高校生を対象に現場見学会を開催しました。今回は栃木農業高等学校の環境デザイン科の2年生約40人を対象に、乙女大橋下部建設工事（山中・潮田JV）、間々田地区新設保育所建設外構工事（株山中組）、小山第四工業団地第二工区整備事業（板橋・光洋JV）の3現場を回りました。着工までの経緯や施工状況の説明、現場で働く技術者へのインタビューでは生徒のみなさんからたくさんの質問が出て盛り上りました。重機の乗車体験や最新測量機器を用いた測量体験、稼働している重機を間近で見ることで建設業の業務と迫力、魅力を体感することができたのではと思います。また、道中車内の説明では建設業が地域の守り手として活躍していることも知っていただけたと思います。今回の見学会を機に建設業へ興味を持ち、将来の職業選択において選択肢の一つとなり、一人でも多くの人に地元建設業で従事してほしいと思います。



小山第四工業団地整備事業 現場見学

(株)乃木鈴建設産業 鈴木隆太)



Topics

「建設機械搭乗体験」 総合学習支援活動

【塩谷支部】



タイヤローラー搭乗体験

令和7年12月11日、塩谷支部建青会はさくら市の熟田小学校（初実施）で会員企業から28人が参加し、全校児童140人に対して建設機械の操作や搭乗を体験し楽しみながら建設業の魅力や役割について学んでもらえるよう総合学習支援活動を実施しました。

建青会員の保護の下、ミニバックホウでの砂山づくり、タイヤローラーや高所作業車の搭乗体験、振動ローラーでの缶つぶしなどを体験。2台のドローランが飛び立つ様子に児童たちも歓喜。建設機械のすごさや操作の楽しさの魅力を感じてもらいました。



ミニバックホウ砂山づくり上げ搭乗体験

搭乗体験した児童たちは、「楽しい」と歓声を上げて喜んでいました。

建設業は建設機械を使

って皆さんの家や道路、橋などを作っていることを児童に説明しました。

総合学習を通じて建設業の役割、魅力を少しでも感じてもらい、将来の進路の選択肢の一つになり、一人でも多くの人に建設業に携わってもらえば嬉しいです。

(友建工業(株) 小菅秀樹)

クマ被害を受けパトロールの実施

【那須支部】



とちぎテレビ YouTube より引用（切り取り）

那須塩原市建設業協会では、令和7年6月30日に発生したクマによる人身事故を受け、那須塩原市と協力し埼玉小学校及び稻村小学校区を中心に、スピーカーを載せた広報車で、登下校時の被害防止のため、パトロールの強化に努めました。

（実施期間：7月7日(月)～18日(金)の登下校時）

これにより、地域・関係団体が一体となった見守り体制を構築し、子どもたちが安心して通学できる環境づくりに取り組みました。



10月28日には渡辺市長よりこの活動に対し、感謝の言葉をいただきました。

今後も地域の皆様が安心して暮らせるまちづくりのため、業務中や移動の際にも、可能な範囲で見守り活動を継続してまいります。

（那須塩原市建設業協会会長 (株)生駒組 生駒憲一）



Topics

みんなで楽しむ 土木施設見学ツアー

【那須支部】



建設業の魅力発信のため令和7年10月18日に「みんなで楽しむ土木施設見学ツアー」を実施しました。定員50名で募集しましたが、応募者が多数となり、最終的な参加者は19グループ57名（子ども23名、大人34名）でした。

「晩翠橋」「黒川鉄橋」「膳棚水路橋」の土木遺産3カ所及び「深山ダム地下発電所」「旧青木邸」「西岩崎頭首工」を見学し、先人たちの偉業を学ぶことができました。

昼食は会員が営んでいるキャンプ場でBBQを楽しむなど見学と合わせ、親子で楽しむ機会をつくりました。

募集に当たり、ポスターの掲示に協力をいただきました関係機関、関係者及び参加者並びに広報委員会の皆様に感謝申し上げます。

(株)館林工業 館林貴之)

総合学習支援活動 ～建設機械搭乗体験～

【烏山支部】



那珂川町立小川小学校

令和7年11月11日、烏山支部建青会は那珂川町の小川小学校で総合学習支援活動を実施、4年生の児童27名が建設機械や高所作業車の搭乗を体験し、紙芝居などで建設業の魅力や役割について学習しました。

冒頭、建青会の岡会長が「今回の体験を通し、建設業の魅力や役割について興味を持ってもらいたい」と挨拶。児童は会員補助のもと、慣れないヘルメットをかぶってバックホウの搭乗操作や題目“道路ができるまで”的紙芝居に聞き入り、建設業の職種や役割について身近に感じ取っていました。



また、児童はドローン体験や建設クイズにも挑戦し、笑い声も出る中、建設業の大切さも含め、一生懸命に解答していました。活動の最後には、ドローン空撮による参加者全員の記念撮影を行いました。

我々建青会は、今後も活動を通して、建設業の魅力や役割、重要性を子どもたちや地域の方々に発信してまいります。

(株)荒川建設 中山靖之)



Topics

総合学習支援活動

【安蘇支部】



バックホウ操作・搭乗体験

安蘇支部では、地域の未来を担う子どもたちに建設業の役割を知つてもらうことを目的として、佐野市立吾妻小学校において総合学習支援活動を実施しました。はじめに、災害時に建設業が果たす使命を理解してもらうため、紙芝居を用いて復旧作業や安全確保の流れをわかりやすく紹介しました。



続いて校庭では、バックホウ 3 台、高所作業車 1 台、コンバインドローラー 1 台を用いた操作・搭乗体験を行い、児童たちは迫力ある重機の動きに目を輝かせながら、普段は触ることのない建設機械の動きを体験しました。

また、土砂災害対策のミニ模型を使い、斜面保護や砂防施設の仕組みなどを説明し、身近な防災について理解を深めました。

本活動を通じて、建設業が地域の安全と生活を守る重要な仕事であることを学ぶ貴重な機会になったこと思います。

(岡田土建(株) 石澤洋幸)

わたらせフィスティバル in 足利

【足利支部】



足利支部は、令和 7 年 11 月 9 日に「わたらせフェスティバル in 足利」を開催いたしました。当日は小雨が降る時間帯もありましたが、屋外・屋内ともに多くの来場者に恵まれ、地域に建設業の魅力を伝える良い機会となりました。



屋外ではショベルカーボールで遊ぶ、測量体験、砂場で宝探し、建設機械の展示など、普段は触ることのできない建設の仕事を体験できる企画を実施。雨の合間でも楽しめるよう、安全面に配慮しながら運営しました。

一方、屋内ブースでは VR 現場体験、ラジコン掃除機操縦体験、ぬりえなど多彩なプログラムを展開しました。また、会員企業の施工事例パネル展示も室内に設置し、地域のインフラ整備に貢献する各社の取り組みをわかりやすく紹介。来場者が建設業の役割と広がりを深く理解する機会となりました。

足利支部では、今後も地域とのつながりを強め、建設業の魅力発信と担い手確保に向けた活動を継続してまいります。

(三興工業(株) 山根良樹)



を活用しよう!

能力評価申請で、レベルアップを確認!

—能力評価申請手数料の全額支援もあります—

能力評価申請をするためには、

- ① 詳細型でCCUS技能者登録し、
- ② CCUSに保有資格情報を登録していること
- ③ 所定の期間の就業履歴を有していること

が必要です。さらに、

- ④ 班長・職長の経験で、

シルバー(lev.3)、ゴールド(lev.4)も目指せます。



能力評価申請までに、

✓ 未登録の方は、新規に詳細型でCCUS技能者登録しましょう。
「新規申請」から技能者新規利用申込。登録料 4,900円



✓ 簡略型の方は、CCUS技能者登録を詳細型へ移行しましょう。
「変更」から処理手続き。移行料 2,400円

✓ 保有している資格情報を、CCUSに登録しましょう。
「変更」から申請。無料

なお、2024年3月31日までの就業履歴、班長・職長経験は、CCUSにデータ蓄積が無くとも、所属事業者等が作成する経歴証明書で評価することができます。

2025年8月1日～2026年3月31日までの申請については、

手数料(赤字箇所)を本財団で全額支援(無料)します。

- ✓ 各能力評価団体への能力評価申請手数料 4,000円
 - ✓ CCUS技能者登録と能力評価の同時申込(ワンストップ申請)が可能です。
- 登録手数料 4,900円+評価手数料 3,000円

能力評価申請手数料の全額支援について



技能者登録と能力評価手続きの同時申込について



消防施設工事業
シバのすけ



東日本建設業保証グループ会社（KKS）からのご案内

工事の出来高に応じた融資を利用してみませんか？

新たな資金調達手段をお考えの方に…

KKS出来高融資のご案内

～国土交通省 地域建設業経営強化融資制度～



よく利用されるケース

当該工事の資金繰りを何とかしたい！

既存の融資枠とは別の資金調達手段を確保したい！

竣工金の受取りまで時間がかかりそう！

経営事項審査の評点をアップしたい！

保証人・不動産担保は不要です！

工事請負代金債権を担保とするので、保証人を立てたり、不動産を担保とする必要はありません。

新たな資金調達手段を確保できます！

お取り引きしている金融機関の融資枠に影響することなく、新たな資金調達手段として利用できます。

工事代金の入金遅れを解消できます！

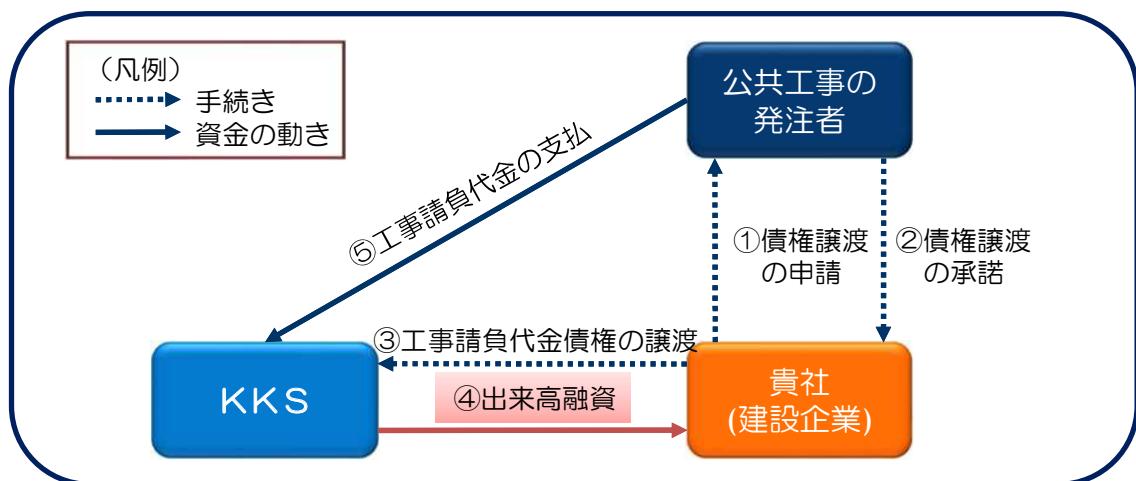
資金調達日を確定することにより、資金繰り計画を立て易くなります。また、竣工金入金によって融資の返済を受けたものとしますので、余分なコストがかかりません。

経審上も有利です！

出来高融資での借入金は、経営事項審査の経営状況分析における「負債回転期間」の負債合計から控除されます。

KKS出来高融資のしくみ

国の「地域建設業経営強化融資制度」に基づき、貴社の公共工事請負代金債権（以下、工事請負代金債権とします）を担保として、KKSが出来高に応じて融資を行うものです。





お申込から融資実行までの流れ



ご利用の留意点

- ※ 融資実行日から発注者からの完成代金が入金されるまでの間は、利息がかかります。なお、利息は金融情勢により変動することがあります。
- ※ 融資時には、利息のほかに、事務手数料、出来高査定費用(実費)、手形貸付に係る印紙、法人の印鑑証明書等の費用がかかります。
- ※ 利息や事務手数料等については、株式会社建設経営サービスにお問い合わせください。



ご利用いただける発注者の例示

- 【国】 国土交通省、農林水産省、文部科学省、防衛省
 【独立行政法人】 東日本高速道路(株)、都市再生機構、水資源機構
 【地方公共団体】 栃木県、宇都宮市、足利市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、那須塩原市、さくら市、下野市、上三川町、芳賀町、那須町、壬生町

制度に関するお問合せ先 ⇒ 東日本建設業保証(株)栃木支店 028-639-2388
 お申込に関するお問合せ先 ⇒ (株)建設経営サービス 金融第二部 03-3545-8523

詳しくはWEBで

KKS出来高融資

検索

www.kks-21.com



発行人・お問合せ先

KKS 株式会社 建設経営サービス

金融第一部

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12 URL [https://www.kks-21.com](http://www.kks-21.com)
 TEL 03-3545-8523 FAX 03-3545-8530

金融第二部

宮城営業所

愛知営業所

石川営業所

東京都中央区築地5-5-12 TEL 03-3545-8523

宮城県仙台市青葉区支倉町2-48 TEL 022-262-8622

愛知県名古屋市東区武平町5-1 TEL 052-962-3525

石川県金沢市弥生2-1-23 TEL 076-242-1285

一般社団法人 栃木県建設業協会 推奨

栃木県内の電子入札用ICカードは

アオサイン

AOSign サービス

お問い合わせ先

NDN 日本電子認証株式会社 〒104-0045

TEL 0120-714-240 東京都中央区築地5-5-12 浜離宮建設プラザ3F
[https://www.ninsho.co.jp/index.html](http://www.ninsho.co.jp/index.html)



信頼の発行実績

累計発行枚数は66万枚突破！

スピード発行

申込書類到着後、5営業日以内で発行！(不備がない場合)

豊富なラインアップ

有効期間1年+30日～5年までの5種類をご用意！

はじめてお申込みの企業様限定「アンケートご回答特典 初回3割引」実施中！



東日本建設業保証株式会社 栃木支店 〒321-0933

TEL 028-639-2388 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1 栃木県建設産業会館3F
 FAX 0120-027-316

日建学院は開講以来、建築士、宅建士、各種施工管理技士合格者輩出のトップを走り続けます。

合格者輩出数55万人突破!

業界実績

No.1



日本マーケティングリサーチ機構 調査概要:2021年9月期_顧客満足度調査

10冠達成の資格学校です!

人材開発支援助成金 92% を
受講料の最大約 92% 助成!

※上記日建学院宇都宮・小山校2級建築施工管理技士一次・二次講座を利用した場合[20人以下の中小建設事業主]。
※助成金はご利用条件がございます。詳しくは日建学院宇都宮校までお問合せ下さい。

日建学院 主要開講座

- 1級土木施工管理技士
- 2級土木施工管理技士
- 1級建築施工管理技士
- 2級建築施工管理技士
- 1級管工事施工管理技士
- 2級管工事施工管理技士
- 1級造園施工管理技士
- 2級造園施工管理技士
- 給水装置工事主任技術者
- 1級建築士 ● 2級建築士
- 宅地建物取引士 ● 建築設備士 他多数



あなたの夢、応援します。

日建学院

宇都宮校 TEL: 028-637-5001 小山校 TEL: 0285-31-4331

建設業のみなさんへ

従業員を
守れる会社が
これから、きっと強くなる!

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

K E N T A I K Y O



建設業退職金共済制度は、
建設業界の人と企業の未来を見据え、国がつくった退職金制度です。

掛金は損金扱い!
新規加入で一部免除

電子ポイント方式なら
手続きもカンタン!

一人親方も
任意組合で加入できる!



建設業退職金共済制度

詳しい情報は
こちら

建退共

<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>



独立行政法人勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部 〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866
建退共栃木県支部 〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1 TEL 028-639-2611

確かな安心へ全力応援。



割戻金の支払いが
始まっています。

令和6年度分 28.52%、令和7年8年も支払いは確定しています。

- 労働者と企業のリスクを同時にカバー
被災者補償(労働者福祉)と諸費用補償(企業防衛)
- 手厚い補償 保険金区分合計最高5,000万円
- 契約者割戻金制度により掛金負担が軽減

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度 (制度創設55周年)

今すぐ、
ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)
の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関: (一社) 栃木県建設業協会

〒321-0933 宇都宮市築瀬町1958-1

Tel. 028-639-2611 Fax. 028-639-2985

さらに新しくなった!
建設共済保険制度の10のポイント



詳しくは HPをご覧ください!

建設共済保険

検索

仕事が見えると、現場が変わると、

小さな事から始められる、福井コンピュータの建設DXソリューション。

業務の一つひとつを3D・ICT化し活用していくことで、現場の省力化・効率化が実現し、生産性を飛躍的に向上させることができます。福井コンピュータでは、建設業界が抱える課題をICT技術で解決し、日本のインフラ整備を支えてまいります。

●背景イメージデータ提供:カナツ技建工業株式会社(島根県)

製品情報

[福井コンピュータ](#)

0570-039-291

<https://const.fukuircompu.co.jp>

許可・経審の“電子申請”も「なんでも経審Plus」

建設業許可・
経営事項審査
電子申請システム
(JCIP)

許可・経審
申請データ出力

無料

許可・経審・分析申請書
作成ツール

なんでも経審
Plus

そのまま
登録できる!

○ JCIPへの申請データを作成できます! ※JCIP(建設業許可・経営事項審査電子申請システム)

○ JCIPから取り出した前回データも取り込めます!

○ 経営状況分析申請用データも作成可能。そのまま電子申請するとお得に!

※一部の行政庁では、令和5年1月からの電子申請受付はできませんのでご注意ください。

登録経営状況分析機関
登録番号 1 CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 東日本支部

お問い合わせ
■北海道 TEL 011-222-2688
■関東 TEL 03-6661-7427
■東北 TEL 03-6661-7214
■中部・北陸 TEL 03-6661-7524

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14番1号 住友生命日本橋大伝馬町ビル4階
詳しい情報は <https://www.ciic.or.jp/>

または [なんでも経審Plus](#) [検索](#)

当財団は、情報セキュリティマネジメントシステム(ISO)に関するISO規格(27001)の認証を取得しています。

中小建設業 特有の条件に対応

建設業者様向け 勤怠管理システム

1年間 無料

※1年経過後 100円～（税別）/1ID



かんたん勤怠マネージャ for 建設業

- 現場直行・直帰を管理
- PC 使用状況把握
- 除雪・災害対応等 36協定適用外管理も可能

ホームページからダウンロード

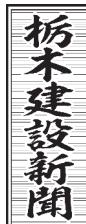
ワイス 勤怠管理

検索

wise

株式会社ワイス TEL.026-266-0710 MAIL:info@wise.co.jp

本社:〒380-0803 長野市三輪1丁目8番14号
FAX.026-266-0845 サポートダイヤル:TEL.050-5491-1112



毎朝10分で
建設情報に
強くなれる



公共工事情報

県内の建設計画や工事情報をいち早くお伝えします。



入札・落札情報

入札結果・予定・公告情報を最短で翌日に掲載します。



最新業界情報

建設関係団体の事業活動、企業の取り組みを網羅。



栃木建設新聞

火曜日～土曜日発行

1ヶ月

8,100円

(税込)



原則として半年ごとのご契約となります。6ヶ月契約=48,600円(消費税込) 1年契約=97,200円(消費税込)

※軽減税率5%の対象商品です。

株式会社 日本工業経済新聞社

宇都宮市築瀬町1958-1 栃木県建設産業会館1階

営業時間 平日9時～18時

お問い合わせ

028-634-0141



HPはこちら

・私たちは安全を優先します・

建災防会員は、労働災害防止に積極的に寄与する企業として、
関係行政や発注者から高い評価が得られています。



建設業労働災害防止協会栃木県支部

〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1 栃木県建設産業会館1階

TEL 028-639-3133 FAX 028-639-3806

URL <https://www.kensaibou-tochigi.jp/>



積算資料と追加資材のデータベースをWeb経由で検索・出力

積算資料電子版

無料体験版のご利用はこちら⇒ [BookけんせつPlaza](#)

年間契約料(税込) **50,160円／1契約** (毎月更新)

●お申し込み・お問い合わせは●
一般財団法人 経済調査会 業務部

掲載単価は全て調査価格! 約61,600規格を掲載!
●月刊「積算資料」約52,400規格と「積算資料 別冊」約9,200規格
(2025年9月号時点)を全て調査価格で掲載

検索結果はExcelで出力できます!
●【検索・絞込】ツリー・フリーワード検索や都市、流通段階の絞り込みが可能
●【マイデータ】検索した単価や名称をExcelデータとして出力、保存可能(一部点数制限あり)
●【閲覧・印刷】表形式でのデータベース閲覧、月号の比較、電子書籍による誌面の閲覧と印刷が可能

ID・パスワードのみで閲覧できます!
●1契約につき7ユーザーまでの登録 このうち3ユーザーの同時利用が可能

QRコード [詳細・無料体験版・ご購入はこちら!](#)



すべての人に、あらゆる場面で。 追求したのは、使いやすさ。

コマツ栃木株式会社
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38番地12
TEL 028-662-6093 FAX 028-660-0781

宇都宮支店 TEL 028-662-6088
鹿沼支店 TEL 0289-72-1005
小山支店 TEL 0285-28-1682
佐野支店 TEL 0283-21-8859
那須支店 TEL 0287-62-2611

NEW

「掘る」「吊す」「均す」
1台3役舗装バージョン
PC30UU-6 舗装バージョン新登場!

●アングル


●チルト




栃木県中央生コンクリート協同組合

事務所: 〒321-0932 宇都宮市平松本町1140番地1 生コン会館2F
電話: 028 (635) 5583 / FAX: 028 (635) 5587

渡辺辻由共同生コン株式会社 小山レミコン株式会社鹿沼工場
株式会社増渕生コン 小山レミコン株式会社真岡工場
株式会社宝木建材工業 有限会社添谷工業
東武栃木生コン株式会社 株式会社上野生コン
菊一生コン株式会社 有限会社薄根生コン
株式会社五月女生コン鹿沼工場

あなたの「**学び**」を
あなたの**力**に

土木施工管理／継続学習 (CPDS)

栃木県土木施工管理技士会

〒321-0933 宇都宮市築瀬町1958-1 ■Tel. 028-639-2611 ■Fax. 028-639-2985

会員のみなさまへ
～会員のみなさまを不測の事故からお守りします～

当協会での「各種保険制度」のご案内

① 第三者賠償事故包括契約保険制度	4月1日より1年間
② 土木工事総合保険制度	8月1日より1年間
③ 建設工事総合保険制度	12月1日より1年間

栃木県建設産業団体連合会
一般社団法人 **栃木県建設業協会**
TEL 028-639-2611 FAX 028-639-2985
(有)アクト(三井住友海上火災保険代理店) TEL 028-639-2611

お問い合わせ先

 組合員工場を選べば安心です

栃木県南部生コンクリート協同組合

〒323-0062 栃木県小山市大字立木367 TEL 0285-37-1213 FAX 0285-37-2258

大木生コン株式会社 株式会社五月女生コン小山工場
株式会社岡建材店 生コン部 ティーエス生コン株式会社小山工場
小山レミコン株式会社 小山工場 栃木レミコン株式会社
三洋コンクリート株式会社 丸新生コン



とちぎの
サムライ

vol.33

全国津々浦々
お城めぐりの旅

ここ数年、城址歩きをしていると、さまざまな城と歴史に関わることになります。毎回のことですが、自分勝手に書いておりますので、史実と異なる部分があるところはご容赦願います。

(一社)宇都宮建設業協会 木澤喜人

幕末の動乱
「北海道の城」

北海道旅行で函館に行かれた人は、必ず五稜郭に立ち寄ると思います。幕末の動乱の中、箱館(江戸時代まで「函館」は「箱館」と表記されていました)戦争にまで進展した歴史の流れの一部を改めて振り返ってみたいと思います。幕末になぜ幕府が五稜郭を築城したのかというと、1853年の黒船来航に端を発します。ペリーによる開国の要求に屈した幕府は、1854年に日米和親条約を締結し、函館を開港しました。幕府は函館を治めるために奉行所を設置し、産業の育成・開拓・防備強化することを考え、緒方洪庵塾に学び洋学者でもあった武田斐三郎に設計を指示しました。ヨーロッパの「城郭都市」をモデルとする要塞を考案し、約7年かけて完成させました。同様な形状の城跡は、日本では函館の五稜郭と長野県佐久市の龍岡城五稜郭の2ヶ所だけです。

「五稜郭」



五稜郭は、死角をなくすため稜堡(りょうほ)と呼ばれる5つの角がある星形になっており、この五角形となる土壘と石垣の周りには水堀があります。さらに、この星形の土壘の南西側には半月堡(はんげつほ)または馬出堡と呼ばれる三角形状の土壘があり、その周りもまた水堀となっています。出入口にあたる所には、外から直接五稜郭の中を見えなくするための土壘「見隠堡(みかくしるい)」があります。五稜郭を形作る土壘は幅約27mから30m、高さ約5mから7mで造られています。五稜郭の大きさは、堀の内側は約12万5,500m²、東京ドームの約3倍の広さがあり、水堀の幅は最大約30m、深さは4mから5mで、この堀の外周は約1.8kmの長さとなっています。五稜郭の中心部にある奉行所では、(1)蝦夷地の統治、(2)開港に伴う諸外国の応接・交渉、(3)海岸防備などの業務を行っていました。



1867(慶應3)年、江戸幕府に対して倒幕運動が進み、徳川慶喜が朝廷に大政奉還すると、五稜郭は箱館奉行所から朝廷に明け渡されます。箱館奉行所が奉行所としての役割を果たしたのは、明治維新までのわずか4年間だけでした。1868(明治元)年には、旧幕府軍と新政府軍による戊辰戦争が京都の鳥羽伏見で勃発。旧幕府の海軍副総裁・榎本武揚の率いる旧幕府軍が蝦夷地に上陸し、無人となっていた五稜郭を占拠します。ここに、新選組副長・土方歳三も加わった旧幕府軍が「蝦夷共和国」を建国し、箱館政権を誕生させました。約半年の間、新政府軍と旧幕府軍の最後の戦争が道南の地において繰り広げられることとなりましたが、圧倒的な戦力を持ち、時代の勢いを背負っていた新政府軍にかなうはずもありません。明治新政府軍の箱館総攻撃が始まり、次第に形勢不利となっていき、敗北は決定的なものとなりました。1869(明治2)年5月18日、旧幕府軍が降伏して箱館戦争は終結。五稜郭



は新政府軍に明け渡され、再び明治政府のものとなりました。幕府最後の拠点として蝦夷地で独立を果たすという夢はもろくも瓦解したのでした。私の中で、五稜郭にまつわる人物といえば、新選組の鬼の副長・土方歳三です。

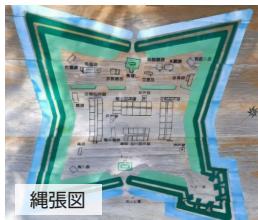
江戸出身で、同郷の近藤勇と共に新選組を作り上げました。各地で転戦した後、1868(明治元)年の箱館戦争の際、土方は海軍副総裁の榎本武揚と共に函館に渡ります。榎本武揚は、江戸城が無血開城し江戸幕府がなくなった後、行き場のない武士のために北海道を開拓して蝦夷共和国を作ろうとしていました。1869(明治2)年の5月11日、最後の戦いで土方らが率いる旧幕府軍は、新選組らが抵抗している弁天台場を助けに向かっていました。その途中「一本木関門」付近での戦いの最中に、土方は馬上で銃に撃たれて35歳でこの世を去りました。時代の流れに逆らい、武士として誇りを持ち、愛刀を振るって戦った土方が最期は銃弾に倒れるという、何ともやるせない結末でした。

土方歳三は当時から女性たちに人気があり、現地では今も若い女子たちに圧倒的な人気があります。いつも花が添えられたり、ブロンズ像と一緒に写真を撮ったりして賑わっています(羨ましいな~)。



「松前藩戸切地(へきりち)陣屋」

開国直後の1855(安政2)年に行われた江戸幕府による北方防衛のためと、それに伴う函館平野一帯の警衛分担のために、幕府の命で松前藩が陣屋を構築しました。設計者は佐久間象山が開いた洋学塾「五月塾」に学んだ松前藩士の藤原主馬で、日本で初めて稜堡式築城術に基づく星形堡壘構造を本陣に採用していました。五稜郭の築城とほぼ同時期の築城であり、五稜郭の影響を受けて稜堡式城郭として設計されたのではないかと思われます。



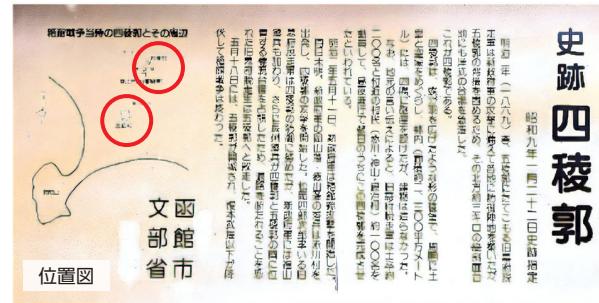
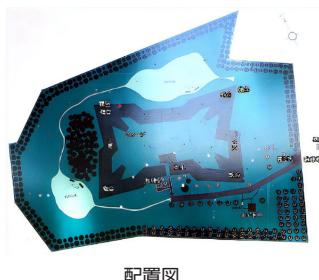
明治元年に箱館戦争で榎本軍の進撃を受け退却する際、守備隊により自焼・放棄されました。

東側の先端がそのまま砲台となっています。この部分の城壁は6ヶ所切り込まれ、砲を配置できるようにしています。

17棟の建物があり、120名ほどで守備していました。陣屋の総面積は4万3,400m²、形状は四稜の星形で、東南部の稜堡に六門の砲座を配置していました。

「四稜郭」

四稜郭は、箱館戦争の際に榎本武揚らが1869(明治2)年に五稜郭の背後を固めるための支城として、洋式築城法により急造しました。建設には大島圭介らが指揮を執り、旧幕府兵卒約200名および近隣住民約100名が徴用され、昼夜兼行の突貫工事で完成させました。しかし、堡壘としては脆弱であり、立てこもるには手狭で、井戸等の設備も間に合わなかったようです。同年5月11日、新政府軍は箱館総攻撃を開始しました。旧幕府軍は四稜郭の防御に努めましたが、四稜郭と五稜郭の間に位置する権現台場を新政府軍に占領されたため、退路を断たれることを恐れた旧幕府脱走軍は五稜郭へと敗走しました。



史跡
四稜郭

四稜郭は蝶が羽を広げたような形の堡壘で、東西約100m南北約70mの範囲に、幅5.4m高さ約3mの土壘が巡り、その周囲には幅2.7m深さ0.9mの空濠が掘られています。また、土壘の南西側には門口が設けられ、郭内(面積約2,300m²)の四隅には砲座が配置されていますが、建物は造られませんでした。しかし、平地の真ん中にこの程度の土壘を築いただけの城では近代戦では役に立たず、新政府軍の攻撃を受けて数時間で落城してしまいました。旧幕府軍は、長い鎖国によって世界の大きな変化を知る由もなく、戊辰戦争の時も兜をかぶり、槍・刀・火縄銃で新政府軍との戦いに臨み、そんな時にも幕府の中で勢力争いが続いていました。人数だけは新政府軍に勝っていて、武士道の精神で戦うことを真剣に考えていました。現在はもっと時代の変化が速く、流れに全然付いていけない虚しさを切実に感じる今日この頃です。



■総会員数 347社

宇都宮 75	鹿 沼 25	日 光 36	芳 賀 30	下都賀 59
塩 谷 34	那 須 42	烏 山 14	安 蘇 17	足 利 15

■新規会員

〈下都賀〉(有)野辺工業
平田 光男



■代表者変更

〈那 須〉金澤建材(株)
山中 芳寛



〈那 須〉(株)山洋建設
山下 誠



〈足 利〉岩澤建設(株)
岩澤 賢典



■退会会員

〈日 光〉(株)藤田工務店

■お悔やみ

令和7年8月14日 植田建設(株)	〈芳 賀〉 代表取締役会長 植田洋審 様 (享年85歳)
令和7年8月17日 松本興業(株)	〈那 須〉 代表取締役会長 松本義広 様 (享年66歳)
令和7年9月18日 ミユキ建設(株)	〈宇都宮〉 代表取締役会長 中島 理 様 (享年75歳)
令和7年9月22日 (株)落合土木	〈安 蘇〉 代表取締役会長 落合喜行 様 (享年90歳)
令和7年9月29日 (株)佐藤組	〈那 須〉 代表取締役会長 佐藤憲一 様 (享年72歳)



■編集後記

新しき年を謹んでお祝い申し上げます。2026年の干支、丙午(ひのえうま)は「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」年といわれており、皆様の益々のご活躍を祈念いたしております。

昨年は1月に八潮市の道路陥没事故から始まり年末には東北にて震度6強の地震が発生するなど、建設業界においては気を引き締めなくてはならないと骨身に染みる事柄もありました。しかしながら、大阪・関西万博の大成功や日本初の女性首相「高市早苗内閣総理大臣」の誕生など、明るい事柄も多く、日本中が良い雰囲気に変わってきたことに感じることができました。

本年も広報委員会は建設業の素晴らしいと有益な情報を広く発信してまいりますので、ご期待のほど、よろしくお願いいたします。

(広報委員 山田 孝)

◆発行人／一般社団法人栃木県建設業協会
◆編集・デザイン／藤崎印刷
◆電話 028-1639-12611(代)

<https://www.tochiken.or.jp/>



一般社団法人 栃木県建設業協会 〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1



TEL.028-639-2611(代) FAX.028-639-2985 URL <https://www.tochiken.or.jp/>

■宇都宮支部／TEL.028-636-5221

■芳賀支部／TEL.0285-82-2051

■那須支部／TEL.0287-22-2124

■足利支部／TEL.0284-71-0044

■鹿沼支部／TEL.0289-65-2020

■下都賀支部／TEL.0282-24-5420

■烏山支部／TEL.0287-82-3161

■日光支部／TEL.0288-54-0140

■塩谷支部／TEL.0287-43-0142

■安蘇支部／TEL.0283-24-3838